

1 地区の概況

浮田地区は市の南端に位置し、地区の中心を南北に貫くように国道 456 号線が走っています。江戸時代は盛岡藩と仙台藩との藩境であったため、番所という役所がありました。

中山間地域で、主な産業は農業で、地区内には 3 つの工房があり、豆腐やこじ、納豆、パン、みその製造や販売、加工体験の受け入れなどを行なっています。

和賀氏の家臣・毒沢氏の毒沢城跡や安俣小原氏の倉沢城跡のほか、樹齢 550 年のうば杉や、大木となるのは珍しいオンコ(イチイ)など多くの文化財があります。また、浮田神楽は年に 30 回ほど演じているほか、子どもしながく、さんさ踊りなども大切に継承されています。

平成 20 年には大船渡市三陸町崎浜地区との交流が始まり、東日本大震災の際には、いち早く支援物資を送り、炊き出しも行なうなど、物心両面で支援し、この交流が「結いの里」を目指す浮田地区の大きな特徴となっています。

2 地区ビジョン 【浮田地区コミュニティ会議 地域づくり基本計画】

(1) 基本理念

- ① 浮田地区コミュニティ会議は「結いの心」を大切に自主・自立の地域づくりを推進します。
- ② 浮田地区コミュニティ会議は、すべての住民の生命に関わる「食」を基本とした健康で住みよい地域社会を構築します。

(2) 基本テーマ

- ① ドラマチック『百笑空間』浮田地区コミュニティ会議
(夢と感動を共有する農村社会を基本とした地域づくり)
- ② 「結いの心」で支え合う浮田・中内・毒沢ならではの地域づくり
住んで「えがった」皆なで「おもしろ」と思う地域づくり
- ③ 地区住民がそれぞれの生き方や地域づくりを学び、夢ある企画を計画し、助け合い、活力ある事業を実践します

(3) 基本施策

① 企画・防災

○住民自治の推進

地域の人口動態を予測し、自治会組織の強化と経営能力を向上し、活性化を図ることを推進します。

○自主防災・防犯の推進

住民が協力し合い災害を未然に防ぐとともに、有事の際は力を合わせて復旧に努めます。

○自然環境の保全

不法投棄を未然に防ぐ事や資源ゴミのリサイクルを促進するとともに、川の自然環境保全に努めます。

② 産業・建設

○産業(農林業)の振興

加工農産物等の生産を推進するとともに、加工施設を各自治会にそれぞれ1棟を整備し、地域内や家庭内の食糧支給率の向上を図ります。

○生活(生産)基盤の整備推進

生活・生産環境基盤とグランドゴルフ場等の健康増進施設の整備を調査するとともに、農村空間の景観形成を推進します。

③ 保健・福祉

○高齢者福祉の推進

一人暮らし老人や老人世帯を支援し、自治会サービスや移送サービスの調査を推進します。

○疾病予防の推進

生活習慣病やガン予防等の推進を図ります。

④ 交流・女性

○女性ならではの地域づくりの推進

農産加工技術を習得し、安全で安心な食料を摂取し健康で豊かな農村社会の構築を図ります。

○交流による地域活性化の推進

漁村や都市との交流を推進し、経済的効果求めることはもとより、小学校の児童生徒の交流や、女性・老人クラブ、芸術派文化の交流に努め地域の活性化を図ります。

⑤ 生涯学習

○地域課題解決のための生涯学習の推進

自治会への女性参加の促進を図り、芸術文化にふれあう機会の推進を図ります。

○地元学の生涯学習の推進

浮田学区の歴史文化・人物・自然等を調査し後世に伝えます。

○各世代に必要な生涯学習の推進

自己実現と地域づくりを基本とした、それぞれの世代に必要な生涯学習の推進を図ります。

「浮田地区は結いの里」を目指して

～ドラマチック「百笑空間」～

たくましくも先進的な浮田の先人の精神を受け継ぎ、笑顔があふれ心豊かに暮らせる地域を目指します。

浮田小跡地の介護施設

毒沢城跡

浮田神楽

各地区の工房

～「結いの心」で支え合い～
世代間交流や他地区との交流、高齢者福祉の推進を通して、助け合い支え合う地域づくりを進めます。

～夢と活力のある地域へ～

緑豊かな郷土を誇りに、食の生業（なりわい）を基本に健康で住みよい地域づくりを進めます。

浮田地区コミュニティ会議